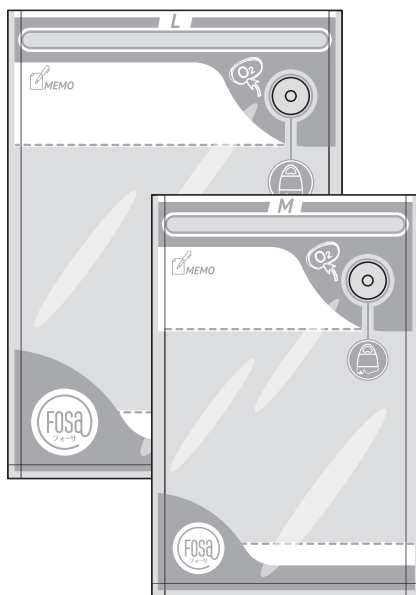
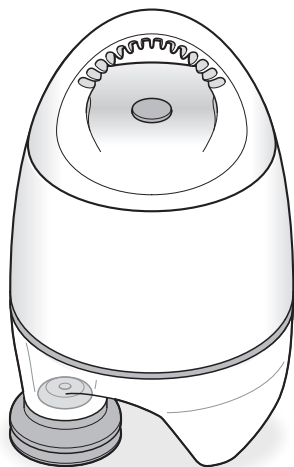


# フォーサ 真空バッグ

取扱説明書 **保証書付**



2023年3月発行 (2)

このたびは「フォーサ 真空バッグ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- 本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- **ご使用前に必ず3ページ「安全にお使いいただくために」をお読みください。**
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。

## はじめに

このたびは「フォーサ 真空バッグ」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
本製品を安全にお使いいただくための注意事項や使用方法を記載しています。  
ご使用になる前に必ずお読みください。また、取扱説明書および保証書は大切に保管し、  
必要なときにご利用ください。（保証書は本書 16 ページにあります）

## もくじ

はじめに.....	2
もくじ.....	2
安全にお使いいただくために.....	3
使用上のご注意.....	4
正しくお使いいただくために.....	5
本体セット内容.....	6
電池のセット方法.....	7
空気を抜いて保存する.....	8
電子レンジで解凍する.....	10
お手入れ.....	11
よくあるご質問.....	13
別売品について.....	14
保管・廃棄方法について.....	15
仕様.....	15

# 安全にお使いいただくために

ご使用になるお客様や他の人が、安全にお使いいただくために重要な内容を記載しています。ご使用の前に次の内容をよくお読みいただいた上、正しくお使いください。誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明します。

## 〈表示の説明〉



**警告**

「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容



**注意**

「人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される」内容



してはいけない「禁止」内容です。



実行しなければいけない「指示」内容です。

## ■ 本体の取り扱いについて



分解  
禁止

分解・修理・改造は絶対に行わない。  
ケガや事故の原因になります。



本体（真空器）を電子レンジで加熱しない。  
火災や電池の液漏れの原因になります。



本体のモーター部を水につけない。  
電池の液漏れや発熱、故障の原因になります。

この取扱説明書に記載のない目的、方法で使用しない。  
ケガや事故の原因になります。



お子様が本製品で遊ばないように注意する。  
事故の原因になります。



取扱説明書で指示されている部品、または当社が販売している付属品のみを使用する。  
事故やケガの原因になります。

繰り返し使用する際は、使用後にすぐ洗浄する。  
真空バッグに汚れが残り、衛生上、食中毒などの原因となります。

## ■ 乾電池のご使用について



電池をショートさせたり、分解・充電したり、火の中に入れてはならない。  
破裂、発熱、液漏れの恐れがあります。

古い電池と新しい電池を混用したり、＋極を逆に入れてはならない。  
発熱、液漏れ、破裂の恐れがあります。

電池を水にぬらさない。  
電池をぬらすと発熱したり、電池の性能を十分に引き出せなくなる場合があります。



電池の液が目や皮膚、衣服に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受ける。  
失明やケガの恐れがあります。



電池は乳幼児の手に届かないところに置く。

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。  
また、乳幼児は機器から電池を取り出す場合がありますので十分に注意してください。

使い切った電池はすぐに本体から取り出す。また、長期間使用しないときは電池を外す。

電池を長い間、機器の中に放置すると液漏れなどを起こす恐れがあります。

# 安全にお使いいただくために (続き)



電池を落下させたり、投げつけたりして、強い衝撃を与えない。電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。

電池の使用、保管時に発熱、変形など今までと異なることに気づいたときは、使用しない。



電池は直射日光・高温・高湿の場所を避けて使用、保管する。電池を漏液、発熱、破裂させる恐れがあります。また、電池の性能や寿命を低下させる恐れがあります。

電池取付部付近で機器の金属部と電池の(+)(-)端子部が接触することがあるため、ショートさせないように電池を機器に挿入する。



電池は、取扱説明書に従って、用途に適した電池を正しく使用する。

この電池を保管する場合には、テープなどで端子部を絶縁する。電池を他の電池や金属製のものと混ぜると、電池がショートして、漏液、発熱、破裂する恐れがあります。

この電池を破棄する場合は、テープなどで端子部を絶縁し、自治体の条例などの定めに従い破棄する。

## 注意

## 使用上のご注意

### 保存する際

- 先のとがった食材・物は真空バッグに入れないでください。  
損傷や変形の原因になります
- バルブから液体を吸い込みそうになったら、本体のスイッチを押し動作を止めてください。  
吸引中にドリップなど食材から出る液体を本体が吸い込み、故障の原因になります。

### 解凍するとき

- 真空状態のままやジッパーをしめている状態では電子レンジ解凍しないでください。  
破裂や変形の原因になります。ジッパーを開けて解凍してください。
- 電子レンジ加熱、オーブン、グリル、オーブントースター、直火、鍋などでの煮沸には使用しないでください。  
真空バッグの耐熱温度を超え、破損や変形の原因になります。電子レンジの解凍モード(200W前後)、低温湯煎調理は使用可能です。

- 糖分や油分が多いものは電子レンジ解凍しないでください。

真空バッグの耐熱温度を超え、損傷や変形の原因になります。別の容器に移し替えてから解凍するか、自然解凍・流水解凍をおすすめします。

### 洗浄するとき

- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機では使用しないでください。  
真空バッグに汚れが残り、衛生上、食中毒などの原因となります。
- 真空バッグを洗浄する際は、下記を必ず守ってください。
  - ・ 洗う際は丁寧に裏返してスポンジを使用し中性洗剤ですみずみまで入念に洗浄してください。裏返す際は真空バッグが損傷しないようにご注意ください。
  - ・ ジッパーとバルブは強く擦りつけず優しく洗浄してください。真空ができなくなる不具合の原因になります。

- ・洗浄後、水分をふき取り風通しの良いところで乾燥させてください。完全に乾燥した状態で使用してください。
- ・汚れが洗浄しきれない状態のものは繰り返し使用しないでください。
- ・繰り返し使用する際は、損傷や変形のみられる真空バッグは使用しないでください。

### 保管するとき

- 火のそばや熱源の近くに置かないでください。  
真空バッグの耐熱温度を超え、破損や変形の原因になります。温度が高くなるところで保管しないでください。

## 正しくお使いいただくために

### 食材を入れる際

- MAX 線を超えて食材を入れないでください。  
バルブが密着せずに吸引ができない原因になります。
- ジッパーやバルブに食材の破片やゴミが挟まっていないことを確認してください。  
しっかり密閉できずに吸引ができない原因になります。
- 柔らかい食材を入れて真空にしないでください。  
吸引すると真空バッグどうしが密着して食材がつぶれてしまいます。
- 粉末状の食材はそのまま真空バッグに入れて真空にしないでください。  
真空バッグのバルブ内に粉末が入り込み、真空不良の原因になります。

### 吸引する際（真空にする際）

- 吸引する際は、専用アタッチメントの吸引込み口をバルブ位置マークの中心に押し付けてください。  
中心からずれると吸引できない原因になります。
- 吸引開始後数秒間は本体を手で支えてください。  
ある程度吸引された後は手を離しても本体が自立しますが、吸引込み口が外れてしまった場合は、再度手で支えながら吸引しなおしてください。
- 真空バッグに熱いものを入れた状態で吸引しないでください。  
破損や変形したり、真空状態にできないことがあります。

### 保存する際

- 真空バッグは空気を抜いた（真空にした）後、食材用途に合わせて、冷蔵庫や冷凍庫などで保管してください。  
生ものの食材は、常温での保存は避けてください。

### 繰り返し使用する際

- 空気を抜いて密閉しても、食品の鮮度は少しずつ劣化します。  
お早めに消費してください。
- 食材をラップなどで包んでから真空バッグに入れてご使用いただくと、汚れにくく洗浄しやすくなります。  
ラップなどで包んだ際も真空バッグはしっかり洗浄してください。
- 真空が維持できなくなった際は、ジッパーやバルブの変形の可能性があるため、新しい真空バッグをご使用ください。
- 電子レンジ解凍後の真空バッグは繰り返し使用できません。
- 繰り返し使用する際は、入念な洗浄・乾燥後、食器用の除菌スプレーを使用してからのご使用をおすすめします。
- 本製品には、殺菌作用はございません。  
保存には十分ご注意ください。

### その他

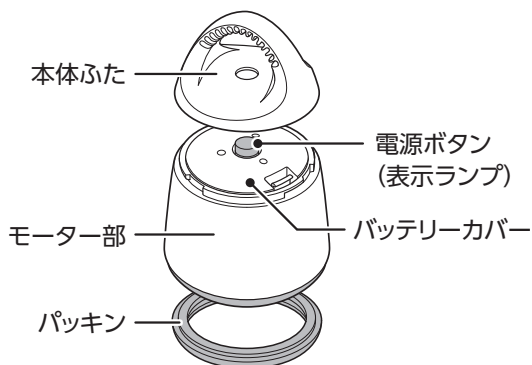
- 業務用で使用されている強力な真空ポンプにより、空気を抜く方法とは異なります。
- 真空バッグを水に長時間浸けないでください。  
ジッパーやバルブがふやけて柔らかくなり、真空ができなくなる不具合の原因になります。
- ぶつけたり、重いものを上に載せたり、無理な力を加えないでください。また、無理に部品を引っ張るなど、乱暴に扱わないでください。  
故障の原因になります。
- 家庭用として使用し、業務用として使用しないでください。  
故障の原因になります。保証の対象になりません。
- 屋外で使用しないでください。  
故障の原因になります

# 本体セット内容

ご購入いただいたセット内容に沿って、付属品がすべて揃っているかをご確認ください。その他のセットを追加ご希望の方は、巻末のカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

セット内容 / パーツ	本体 (真空器)	専用 アタッチメント	クリップ	真空バッグ Lサイズ	真空バッグ Mサイズ
真空バッグスターターセット	×1	×1	×1	×5	×5
真空バッグ本体なしセット	—	×1	×1	×5	×5

## ■ 本体(真空器)



※ お届け時は、個装箱の一番底にある箱の中に入っています。

## ■ 専用アタッチメント(付属品)



## ■ クリップ(付属品)

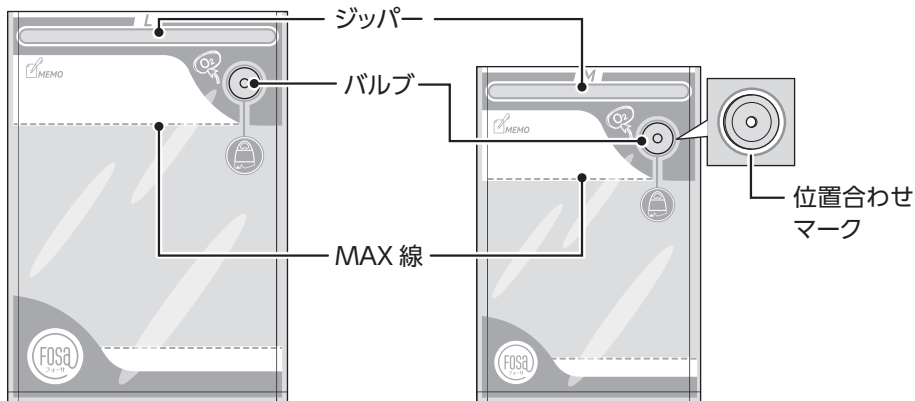


## ■ 真空バッグ Lサイズ(消耗品)

縦 354mm × 横 252mm

## ■ 真空バッグ Mサイズ(消耗品)

縦 303mm × 横 203mm



冷蔵	冷凍	電子レンジ解凍	電子レンジ加熱	煮沸、湯煎	食器洗い乾燥機・食器乾燥機
○	○	○	×	×	×

※ 電子レンジ解凍後の真空バッグは繰り返して使用できません。

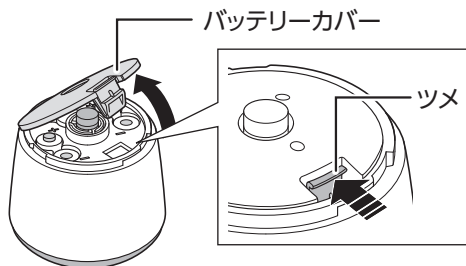
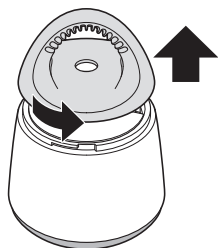
# 電池のセット方法

ご使用前に単3形アルカリ乾電池（LR6）×4本をセットしてください。

※ 乾電池は別売りです。ニッケル水素充電電池もご使用いただけます。

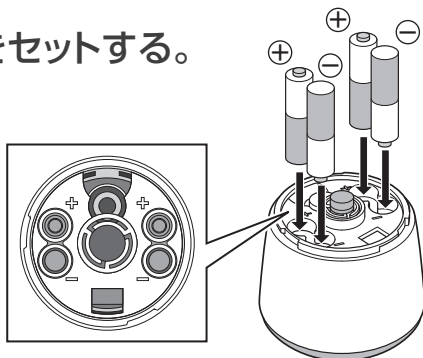
## 1 本体ふたを外し、バッテリーカバーを外す。

- ① 本体ふたを反時計回りに回して外します。
- ② ツメ部分を押しながら、バッテリーカバーを持ち上げて外します。



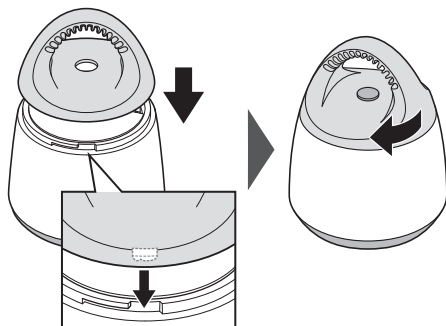
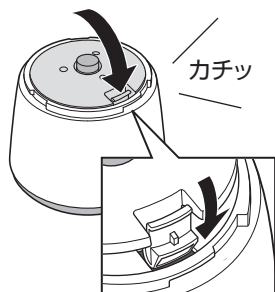
## 2 単3形アルカリ乾電池4本をセットする。

**⚠ 電池の向き注意**



## 3 バッテリーカバーを取り付け、本体ふたを取り付ける。

- ① バッテリーカバー後ろの突起を本体の穴に差し込み、本体ふたを元のように閉めます。
- ② 本体の溝に本体ふたのツメをはめ込み、本体ふたを時計回りに回して固定します。



# 空気を抜いて保存する

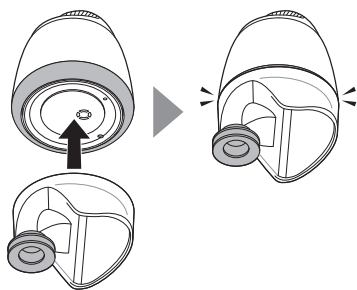
## 1 本体に専用アタッチメントを取り付ける。

しっかり固定されるまで押し込んで取り付けてください。

### 重要

ご使用前に必ずパーティションを取り付けてください。液体吸引時に本体を保護するためのものです。

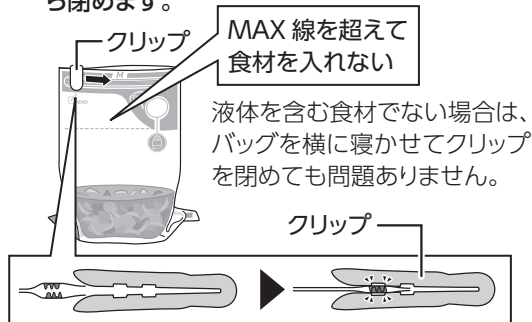
パーティション



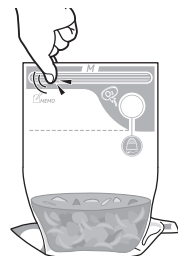
## 2 真空バッグを立てた状態のまま食材を入れ、クリップを使用し、2本のジッパーに沿って端から端までしっかり閉める。

あらかじめ真空バッグ内の空気を手で抜いてから、ジッパーを閉めてください。

- ① クリップを使用し、しっかりと押さえながら閉めます。



- ② 指でジッパーの密封を確認し、パチパチ閉じる感触がある際は指でしっかり閉めてください。



### 注意

MAX線を超えて食材を入れない。また、MAX線より上に内容物を付着させない。バルブが密着せずに吸引ができない原因になります。

### ポイント

ジッパー部やMAX線より上側に液体や食材がつかないように、真空バッグのMAX線より上側を外へ折り曲げて食材を入れることをおすすめします。

ジッパー部やバルブ部に内容物が付着すると、真空不良の原因になります。



底を広げて立たせる



3

バルブを食材より高い位置に水平な状態になるように置き、吸い込み口をバルブ位置合わせマークに押し付けながら、本体の電源ボタンを押す。液体を含む食材を保存する場合は、液体を吸い込まないように注意してください。バルブが保存物より低い位置にあると、空気より先に液体を吸い込み、故障の原因になります。

液体を含む食材でない場合は、平らな場所で寝かせて吸引しても問題ありません。

**注意**

液体を含む食材の場合は自動停止させない。

空気を吸引中に真空バッグ内の液体が MAX 線を超えたら、すぐに本体の電源ボタンを押し、電源をオフにして停止する。

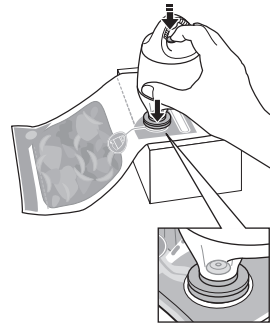
● 液体は絶対に吸い込ませないでください。

慣れない場合は、電源をこまめに押し、吸引と停止を繰り返して絶対に液体を吸い込まないように注意してください。

● 保存物から液体がまったく出ない場合は自動停止させてください。

※ 本体内部に液体を吸い込んで故障した場合は、有償交換対応となります。

- 動作中は、電源ボタンのランプが点灯します。  
真空バッグ内の空気が抜けると、電源ボタンのランプが消灯し、自動的に動作が止まります。
- 動作時間は、真空バッグの大きさや空気の量によって異なります。
- 電池が少なくなると、電源ボタンのランプが点滅してお知らせしますので、電池を交換してください。

**ポイント**

吸引開始後数秒間は本体を手で支えてください。

ある程度吸引された後は手を離しても本体が自立します。

吸い込み口が外れてしまった場合は、再度手で支えながら吸引しなおしてください。

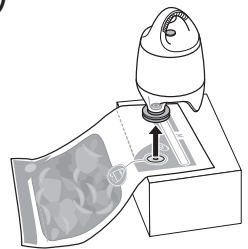
4

モーターの動作が止まったら、本体を真空バッグから外す。

真空バッグはそのまま、食材用途に合わせて、冷蔵庫や冷凍庫などに保管してください。

**ポイント**

本体は専用アタッチメントを取り付けたままでも立て掛けて置くことができます。



5

ジッパーをやさしく開けて、食材を真空バッグから取り出す。

**注意**

ジッパーは強く引っ張って開封しない。

ジッパー部の破損の原因になります。

# 電子レンジで解凍する

**注意** 電子レンジの加熱モードで使用したり、オーブン、グリル、オーブントースター、直火、鍋などでの煮沸には使用しない。  
真空バグの耐熱温度を超え、破損や変形の原因になります。

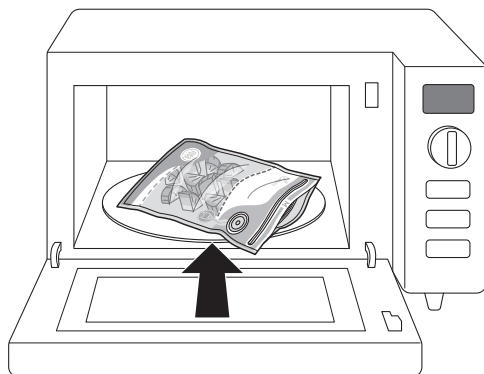
## 1 真空バグのジッパーをやさしく開けて、封が開いた状態で電子レンジに入れる。

バルブがついている面を上側にして入れてください。

ドリップなど食材から出る液体がこぼれないように、必要に応じ耐熱皿の上に置いて解凍してください。

### 注意

真空状態のままやジッパーを閉めている状態では電子レンジ解凍しない。  
破裂や変形の原因になります。



## 2 電子レンジの解凍モード(200W前後)で解凍する。

電子レンジでの使用は解凍までとし、加熱調理する際は別の耐熱容器に移し替えてください。

電子レンジ解凍後の真空バグは繰り返し使用できません。

### 注意

糖分や油が多いものは電子レンジ解凍しない。  
真空バグの耐熱温度を超え、損傷や変形の原因になります。別の容器に移し替えてから解凍するか、自然解凍・流水解凍をおすすめします。

# お手入れ

## 真空バッグの洗浄方法

### 重要

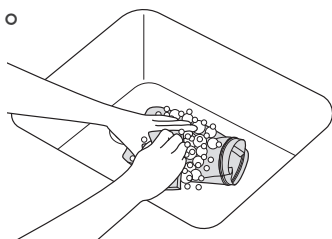
繰り返し使用する際は、ご使用後にすぐ洗浄してください。  
真空バッグに汚れが残り、衛生上、食中毒などの原因となります。

### 1 真空バッグをていねいに裏返し、 食材が入っていた面を外側にする。

スポンジを使用し、中性洗剤ですみずみまで入念に洗浄してください。

裏返す際は真空バッグが損傷しないようにご注意ください。

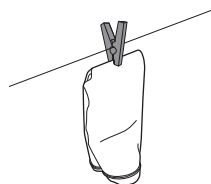
ジッパーとバルブは強く擦りつけずやさしく洗浄してください。



### 2 洗浄後、水分をふき取り、裏返しのまま 風通しのよいところで乾燥させる。

洗濯ばさみなどで挟み、直射日光のあたらない室内で干すように乾燥させてください。

完全に乾燥した状態で使用してください。



### 3 完全に乾燥した後は、真空バッグを元通りに裏返し、 食材が触れる面を内側にする。

2本のジッパーに沿って端から端まで閉め、しっかりとパチパチ閉じられることを確認してください。

### お願い

- 真空が維持できなくなった際は、ジッパーやバルブの変形の可能性があるため、新しい真空バッグをご使用ください。
- 繰り返し使用する際は、入念な洗浄・乾燥後、食器用の除菌スプレーを使用してからのご使用をおすすめします。

### 注意

- 汚れが洗浄しきれない状態のものは繰り返し使用しない。
- 繰り返し使用する際はご自身で使用可否を判断すること。
- 損傷や変形している真空バッグは繰り返し使用しない。
- 電子レンジで解凍した後の真空バッグは繰り返し使用できません。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機では使用しない。

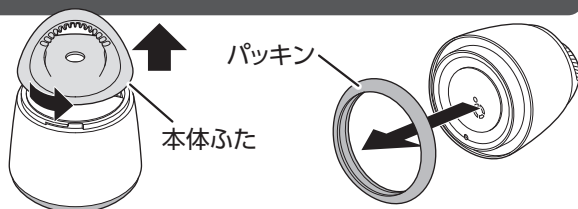
## お手入れ (続き)

**お願い** ベンジン、シンナーは使用しないでください。

### 本体ふた、パッキン

本体ふたとパッキンは本体から取り外して水洗いすることができます。

中性洗剤で洗ったあと、十分にすすいで、乾燥させてください。



### 専用アタッチメント

パーティションを取り外し、アタッチメントとパーティションを中性洗剤で洗ったあと、十分にすすいで、乾燥させてください。

**お願い**

- パーティションを取り外す際は、パーティションの端の一部を指で上から軽く押してやさしく外してください。
- 吸い込み口のパッキンはアタッチメント本体から取り外さないでください。
- 吸い込み口はやさしく傷つかないように洗淨してください。



※食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使用できません。

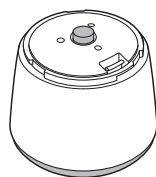
### モーター部

固く絞った布で拭いてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤で拭きとってください。

長期間使用しない場合は乾電池を取り外してください。

**お願い**

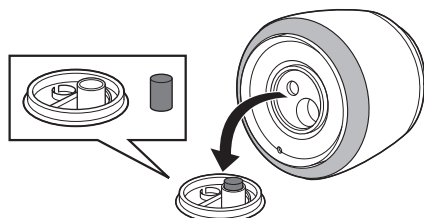
モーター部は水洗いしたり、水につけないでください。



**重要**

液体をモーター部まで吸い込んだ場合は、必ずこちらのお手入れをしてください。

- すぐに本体から電池を抜いてください。
- 本体底面の丸いパーツを外した後、丸いパーツと黒フィルターを水洗いし、1日以上乾燥させてください。
- 本体は、乾いた布で液体を十分に拭き取り、逆さまにして液体をすべて取り除き、1日以上乾燥させてください。



※ 動作しなくなった場合は、有償交換対応となります。

## よくあるご質問

症状	原因	対処方法
モーターが作動しない	電池の向きが間違っている。 電池がセットされていない。	電池を正しく入れてください。 → 7ページ
電源ボタンのランプが点滅している	電池の残量がない。	新しい電池に交換してください。 → 7ページ
空気が抜けない (真空にならない)	電池の残量が少ない。	新しい電池に交換してください。 → 7ページ
	ジッパーがしっかり閉められていない。	指でジッパーの密封を確認し、パチパチ閉じる感触がある際は指でしっかり閉めてください。 → 8ページ
	ジッパーに食材の破片やゴミが挟まっている。	食材の破片やゴミを取り除いてください。ジッパー部分がしっかり閉まるようにきれいにしてください。→ 8ページ
	専用アタッチメントの吸い込み口が真空バッグのバルブにしっかり密着していない。	吸い込み口をバルブ位置合わせマークの中心にしっかり押し付けながら空気を抜いてください。 → 9ページ
	バルブの下に食材の破片やゴミが挟まっている。	食材の破片やゴミを取り除いてください。バルブ部分が真空バッグにしっかり密着するようにきれいにしてください。 → 8、9ページ
	何度も繰り返し使用した。	何度も繰り返し使用すると、ジッパーやバルブが少しずつ変形していきます。その際は新しい真空バッグをご使用ください。 → 11ページ
動作が自動的に止まらない	専用アタッチメントの吸い込み口が真空バッグのバルブにしっかり密着していない。	ある程度吸引された後も動作が止まらない場合は、吸い込み口をバルブに押し付けてしっかり密着させれば、真空が完了し自動的に動作が止まります。→ 9ページ
真空バッグが変形した	火のそばや熱源の近くに置いた。	火のそばや熱源から離し、安全で安定した場所に保管してください。→ 15ページ
	電子レンジで加熱した。 鍋などで煮沸した。	真空バッグの耐熱温度を超え、破損や変形の原因になります。低温湯煎調理や電子レンジの解凍モード(200W前後)は使用可能です。 → 10ページ

# 別売品について

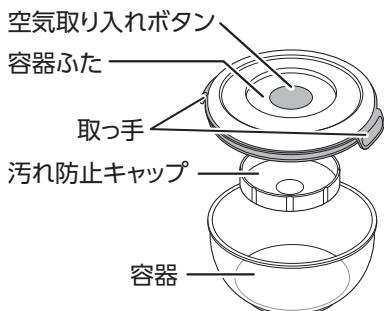
別売品には、丸型・角型の真空コンテナがあります。

**本体は真空バッグと共通してご使用いただけます。**

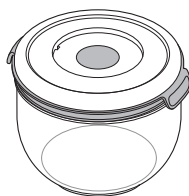
角型の使用方法については、**角型コンテナに付属の取扱説明書をご確認ください。**

角型の真空コンテナは電子レンジで加熱できますが、丸型の真空コンテナは電子レンジでは加熱できません。

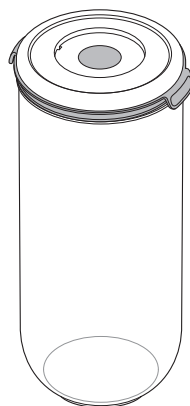
## ■ 真空コンテナ (小)



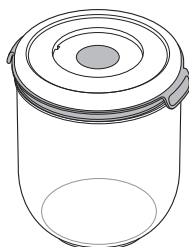
## ■ 真空コンテナ (中)



## ■ 真空コンテナ (縦長)



## ■ 真空コンテナ (大)



## ■ 真空コンテナ (角型)



## ご使用方法

### ■ 空気を抜いて保存する

丸型の真空コンテナにはロックがありません。

容器ふたをしっかりと閉めてから、本体で空気を抜いてください。

### ■ 容器ふたを外す

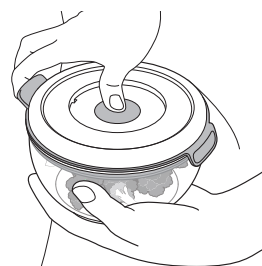
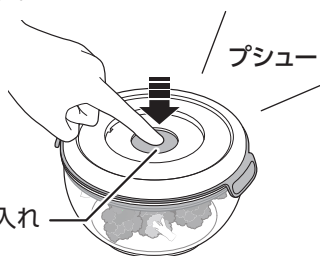
丸型の真空コンテナは、角型真空コンテナとふたの外し方が異なります。

容器ふたの取っ手をもち、容器ふたを取り外してください。



- 1** 容器ふたの空気取り入れボタンを押す。

- 2** 容器をしっかり固定し、空気取り入れボタンを押しながら、ふたを開く。



## 保管・廃棄方法について

### ■保管方法

本製品は安全で安定した場所に保管し、次のような場所には保管しないでください。

- ・火のそばや熱源の近く
- ・お子様、ペットの手の届く場所
- ・極端に高温、低温になる場所
- ・野外、直射日光のあたる場所
- ・ほこりや湿気の多い場所
- ・油煙や湯気のアたる場所
- ・有害物質の近く
- ・滑りやすいものの近く（グリース、油、雪、未乾燥の塗料など）

### ■廃棄方法

廃棄するときは、廃棄する地域の行政、自治体の指示に従い、適切な方法で廃棄してください。

## 仕様

本体		電源：単3型アルカリ乾電池（LR6）×4本
真空バッグ	原料樹脂	ポリエチレン、ナイロン、PET
	耐熱温度	80℃
	耐冷温度	-30℃
	寸法（外形）	L：縦 354mm × 横 252mm
		M：縦 303mm × 横 203mm
	厚さ	光沢面：0.11mm / エンボス面：0.22mm
枚数	L：5枚 / M：5枚	
原産国		中国

## 保証書

【品名：フォーサ 真空バッグ】

この度は当社商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この保証書は、保証期間中に不具合や故障が発生しました場合、下記の無料交換・修理規定にしたがって無償にて交換・修理を行うことをお約束するものです。

この製品が、万一保証期間内に不具合や故障が発生した場合は、**ショップジャパン カスタマーサービスセンター**にご連絡願います。保証期間内に限り無料にて交換・修理をさせていただきます。

※交換・修理をご希望される場合、本書とお買い上げ証明(お買い上げ明細書、レシート、領収書など)の提示が必要となりますので、保証書とお買い上げ証明を大切に保管してください。

ご購入日： 年 月 日

お客様ご氏名： 様

保証期間：ご購入日より 1年間

お客様ご住所：〒

お客様電話番号 (購入時)：

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料で交換・修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の交換や修理などについてご不明な点がございましたら下記の当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。

## 無料交換・修理規定【真空バッグは消耗品のため対象外】

- 取扱説明書・本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で不具合が生じた場合は保証期間内に限り無料交換・修理いたします。
- 保証期間内でも次の場合には有料交換または有料修理となります。
  - 本書の提示がない場合。
  - お買い上げ明細書がない場合および本書の字句を書き替えられた場合。
  - 使用上の誤り、または不当な修理・改造による故障および損傷。
  - お引き渡し後の輸送・落下・水ぬれなどによる故障および損傷。
  - 火災・公害・異常電圧および地震・落雷・風水害・その他の天変地異による故障および損傷。
  - 過酷な条件のもとで使用されて生じた故障および損傷。
  - 故障の原因が本機以外にある場合。
  - 付属品などの消耗品の交換。
  - 車輛船舶などに搭載されて生じた故障および損傷。
  - 一般家庭用以外の用途(業務用など)で生じた故障および損傷。
  - 取扱説明書に記載された内容を守られない場合の故障。
- 消耗品は保証対象外となります。
- 本製品の故障に起因する付随的損害については責任を負いかねます。
- 保証に関して不明の点がありましたら、当社カスタマーサービスセンターにお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

## アフターサービス

- 保証期間経過後の修理については、ご希望により有料で承ります。
- 当社は、補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています。注)補修用性能部品とは、その製品を保持するために必要な部品です。

お問い合わせ | ショップジャパン カスタマーサービス



商品の使い方やQ&Aはこちらから

ショップジャパン サポート



8:00 固定電話 **0120-096-072** 無料

22:00 携帯電話 **0570-096-230** 有料

FAX 0120-700-037 E-MAIL [info@shopjapan.co.jp](mailto:info@shopjapan.co.jp)

 **Shop Japan®**

株式会社 オークローンマーケティング

〒461-0005 愛知県名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル14F

正規輸入販売元 ショップジャパンはフォーサ真空バッグの正規輸入販売元です。